



全国酸素部会新聞

発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2 番

TEL 072-241-6660

メール ctgsansobukai@ybb.ne.jp

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>



建交労第21回定期大会

8月31日～9月2日群馬県安中市「ホテル磯部ガーデン」において建交労第21回定期大会が開催されました。

全国酸素部会からは大陽液送米田氏、鷹巣氏、テーエス支部結城氏、大江氏、産業ガステクノサービス牧氏、関東マルエス伊藤氏、幸栄運輸相澤の7名が参加しました。

建交労結成満20年という記念すべき定期大会で、初日の夜には記念レセプションが催され、歴代の建交労委員長の挨拶や生バンドの演奏等盛大に執り行われました。

定期大会は中央本部を代表して角田執行委員長の挨拶で始まり、その中で憲法改悪阻止、消費税増税中止、辺野古基地建設中止、原発ゼロなど国民的要求課題を前進させることで安倍暴走政治を退陣させようと全国に呼びかけました。

全国の組合員から様々な取り組みや状況報告等活発な討論があり、全国酸素部会の米田部会長からは酸素業界の現



全国酸素部会 米田部会長



状と酸素部会の取り組みについて、鷹巣事務局長からは全国トラック部会研究集会の中で立教大学の首藤教授の物流危機についての講演が行われた内容について、テーエス支部結城氏から貨物自動車運送事業法改正にもとづくトラックドライバーの賃金・労働条件の改善と改善基準告示の抜本改正に向けた取り組みについてそれぞれ発言がありました。

最終日には、機関紙や写真のコンテスト結果が発表され、全国酸素部会新聞が審査員特別賞をいただきました。まだまだ自分も頑張らなければならないと再認識するいい機会になりました。

参加されたみなさん3日間お疲れ様でした。

幸栄運輸支部 相澤 稔



全国酸素部会 鷹巣事務局長



テーエス支部 結城執行委員長

建交労結成21周年記念レセプション

8月31日～9月2日群馬県安中市「ホテル磯部ガーデン」において建交労第21回定期大会が開催され、初日の夜には建交労結成21周年記念レセプションがおこなわれました。



1999年に当時の運輸一般と建設一般と全動労の3単産が合併して建交労が誕生して早くも20年が経ちました。

各業種別部会長の樽の鏡開きでスタートし、その後、歴代の建交労委員長の挨拶や生バンドの演奏等、また、これまでの運動や争議発生から解決までの話しなど業種や地域の枠を超え全国の仲間が交流し盛んに盛り上がりました。



全国酸素部会部会長 米田順一

原水爆禁止2019年世界大会

8月7日～9日の3日間、原水爆禁止2019年世界大会長崎へ参加しました。

分科会では動く分科会の佐世保基地調査行動へ参加 弓張岳→海からの米軍基地→バスにて前畑弾薬庫、針尾米軍住宅、釜墓地→浦頭引上記念平和公園とコースを周りました。

基地の中までは見れなかったのですが、船に乗り海上から弾薬庫、貯油施設、医薬用倉庫を少し離れた場所から見て、佐世保配備の自衛隊のイージス艦、駆逐艦も見ることができました。あまり見る事が出来ないのので写真を撮ったりしたのですが、実際は人を殺すための殺人兵器。いつでも戦争の準備が出来ていると聞かされて、今までの考え方が変わりました。



佐世保の海は日本にありながら自由に使えない海である事、市民が制限なく活用できるのは20%に満たないと知り、こんなところがあるんだと改めて考えさせられました。

9日、会場では原爆の悲惨さ、74年経った今でも後遺症でまだ苦しんでいる被爆者の言葉を直接聴くことができました。

終戦後生まれた子供や孫までも影響がある原爆。(今後あってはならない、無くさないといけない 核兵器はこの世に要らない。)この大会に参加してすごかったです。まだまだ知らないこと、学んでいけない事がたくさんあると思います。機会があればまた参加したいと思います。戦争を体験

していない世代の者が、これから語り継いでいくために被爆者の方が勇気を持って語ってくれている体験談を直接生の声で聞いて、戦争というのは悲劇、悲しみ以外何も生まない、核がこの世に必要でないもの、風化させてはいけない事、これから先何十年何百年と語り継いでいけないと義務があると思います。

【原爆は、人間として死ぬことも、人間らしく生きることも許しません。核兵器はもともと、「絶滅」だけを目的とした狂気の兵器です。人間として認めることのできない絶対悪の兵器なのです。】

『原爆被害者の基本要約』(1984年)より参加者

8月7日 会場:長崎市民会館 4000名

8月9日 会場:長崎市民会館 5000名

寿運送分会 宮川大輔

